

■米国：DOE、炭素回収技術の開発継続に3,600万ドルを支援

エネルギー省（DOE）は2017年9月22日、工学的規模または商業的設計のいずれかの炭素回収技術の開発を継続する研究開発プロジェクトに対するコスト分担型の支援約3,600万ドルの資金援助を発表した。選定されたプロジェクトは、次の2つの分野に分類し、支援する：(1) 既存施設を使用した炭素回収技術の工学的規模への拡大に対し最大4件、最高3,000万ドル、(2) 工業規模の燃焼後CO₂回収システムの考案、試験、および設計に対し最大2件、最高600万ドルの資金。これらのプロジェクトは、変成性溶媒または膜に基づくCO₂回収技術の工学規模の試験を行い、既存の石炭火力発電ユニットで商業規模の燃焼後CO₂回収システムの設計作業を行う予定である。「炭素回収技術は、環境管理を進める一方で、化石燃料資源の持続可能性を引き続き活用する最も効果的な方法の1つである」とペリーDOE長官は述べている。